

1. 事業評価説明シート

事業名	街路事業 [緊急街路整備事業 (国補)]	事業箇所	甲府市中央四丁目	地区名	(都) 大手二丁目浅原橋線 (中央四丁目工区)	事業主体	山梨県
-----	----------------------	------	----------	-----	-------------------------	------	-----

(1) 事業概要

①課題・背景

・都市計画道路 大手二丁目浅原橋線は、甲府市大手二丁目から中央市西花輪に至る14.9kmの道路であり、甲府都市圏域の幹線道路ネットワークにおける環状道路の一部を構成する南北方向の主要な幹線道路である。  
 ・しかし、当該工区は幅員が狭く、慢性的な渋滞が発生している。また、歩道も狭く、歩行者及び自転車の通行に危険な状態となっている。当該区間起終点で事業中である(都)大手二丁目浅原橋線(柳町工区)、(都)和戸町竜王線と併せ改良を行うことで、中心市街地と郊外とを結び交通ネットワークが強化され、交通が円滑化するとともに、中心市街地の活性化についても効果が期待できる。

②整備目標・効果

主要目標  市街地内の交通の円滑化

自動車交通量 8,785台/12h(H27センサス) > 7,838台/12h以上 (平日) [市街地の平均値] ※  
 混雑度 1.30 > 1.25以上 ※ ※評価基準値

副次目標  歩行者等の安全性の確保

歩行者・自転車交通量 781人台/12h > 93人台/12h以上 ※  
 自動車交通量 8,785台/12h(H27センサス) > 3,428台/12h以上 ※  
 小中学校からの距離 800m < 1km以内 ※ ※評価基準値

副次効果  ライフラインの強化 (電線共同溝による統合整備)

(2) 整備内容と整備量

①整備内容

道路改良、電線共同溝 L=120m W=6.0(18.0)m

②着手年度 令和3年度

③完成見込年度 令和10年度

④総事業費 約900百万円 (国費495百万円(5.5/10) 県費405百万円(4.5/10))

④年度別の整備内容

年度	整備内容	(事業費)
令和3年度	詳細設計・測量	25百万円
令和4年度	用地測量・用地調査	25百万円
令和5～9年度	用地取得・建物補償・電線共同溝工事	650百万円
令和10年度	道路改良工事	200百万円

⑤既整備内容・期間・事業費

(県施工)  
 ・(都) 大手二丁目浅原橋線 (柳町工区) L=180m H30~R7 C=約2,100百万円  
 ・(都) 和戸町竜王線 (城東~中央五丁目) L=578m H24~R9 C=約5,392百万円 (甲府市施工)  
 ・(都) 和戸町竜王線 (中央四丁目) L=202m H23~R6

(3) 事業の妥当性評価

妥当  妥当でない

①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か)

都市計画道路は、都市計画法第59条により行政が整備を行うことを基本としている。

②事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか)

当該道路は、主要地方道甲府市川三郷線であり、県が施行することは妥当である。

③経済妥当性

経済効率性	総事業費		R3~R10		基準年	
	費用	900 百万円	工期	便益	R2	940 百万円
率性	建設費	650 百万円	B/C	走行時間短縮	910 百万円	1.4
	維持管理費	640 百万円		走行経費減少	30 百万円	
		10 百万円		交通事故減少	百万円	

費用便益比 (B/C) は、1.0を超えており、経済効率性は確保されている。

④事業実施・規模の妥当性

本事業区間は、交差点と交差点接続範囲を整備するものであり、事業規模は妥当である。

⑤整備手法の有効性

歩行者・自転車の安全性・利便性を考える上で効率的かつ経済的な手法での整備を実施する。

⑥環境負荷への配慮

・当該工区は市街化された区域内であり、自然環境への影響は少ない。また、環状敷地を有効活用する形で都市計画決定された路線であり、周辺への影響は小さい。  
 ・透水性の歩道整備により、雨水の地盤への浸透を図る。

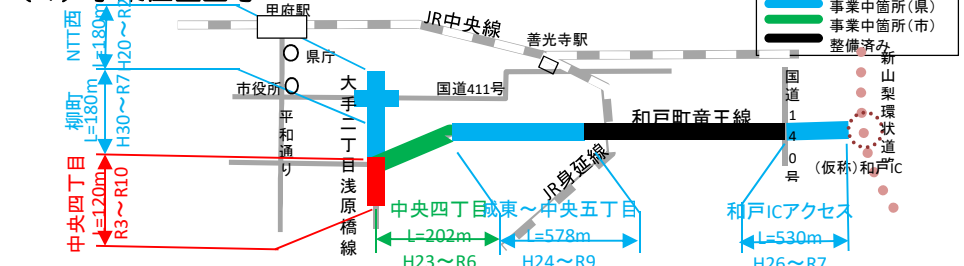
⑦事業計画の熟度

・都市計画決定済 (当初S21、現決定H23) 路線であり、地域の本計画についての熟度は高い。  
 ・現在整備中の和戸町竜王線及び柳町工区と隣接して整備が進められていることから、早期の全線供用への期待が高い。

総合評価

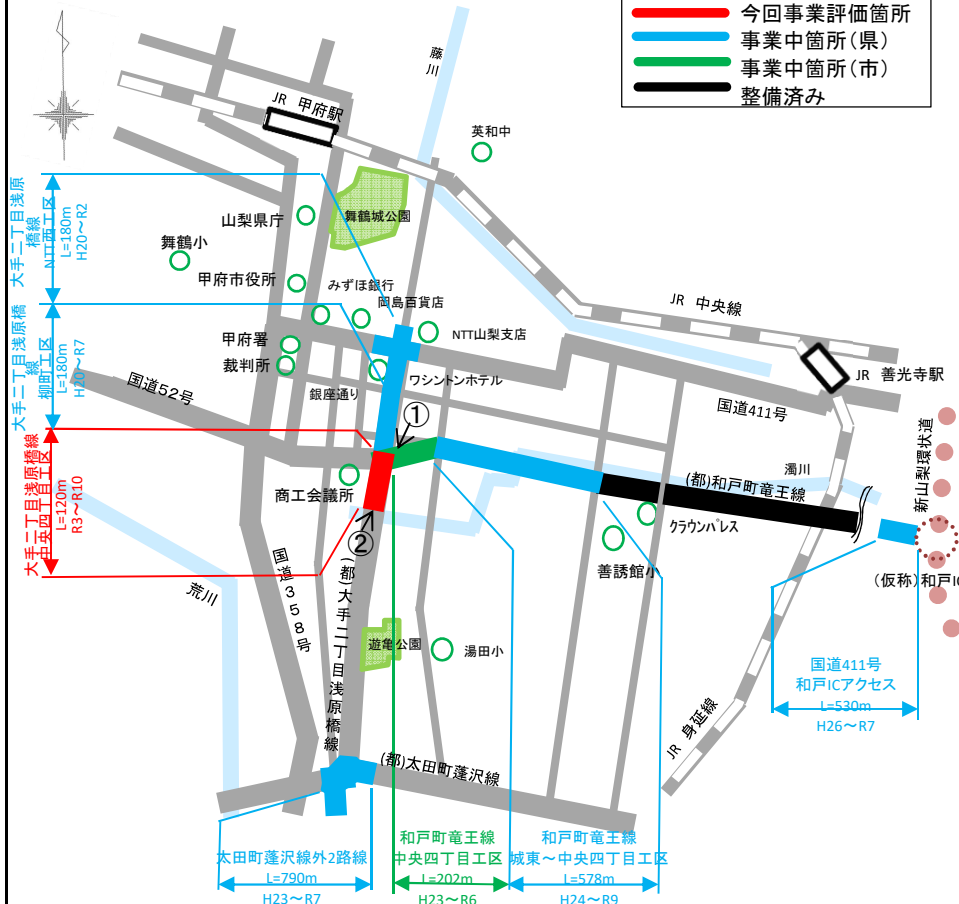
[貢献度ランク: a]

(4) 事業位置図等

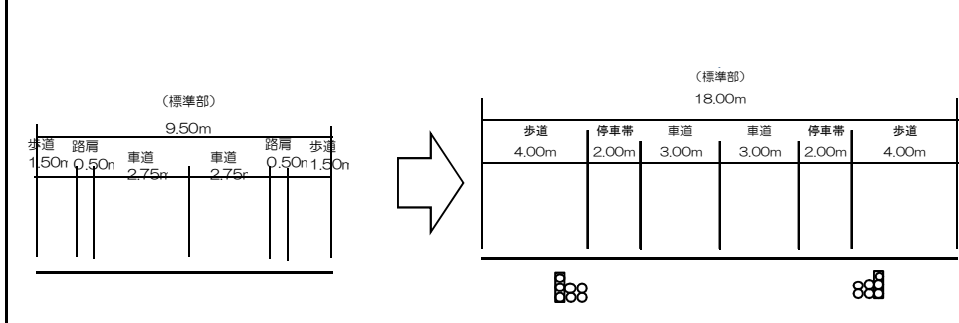


## 2. 添付資料シート

【平面図】



【標準横断図】



【写真①】 現道の状況 起点部 (都)和戸町竜王線計画との交差点



【写真②】 現道の状況 路肩・歩道が狭く、危険な状況

